

施工ガイド

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

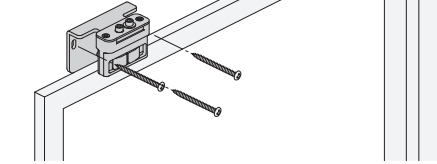
会社案内

■金具の取付け方法

1. 上部調整ガイドの取付け

- ① 戸の高さ位置・戸の開閉位置を考慮して上部調整ガイド(DW-250)を取付けます。

DW-250



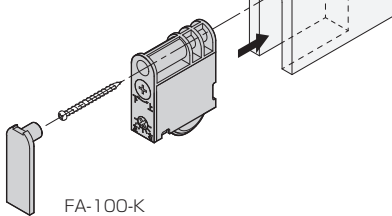
3. 下部レールの取付け

- ① 床/敷居に直付けレール(DW-131)を取付けます。

4. 下部戸車の取付け

- ① 戸に下部調整戸車(FA-1100-BY)を取付けます。(2ヶ所)
- ② 必要に応じて下部調整戸車用キャップ(FA-100-K)をはめ込みます。

FA-1100-BY

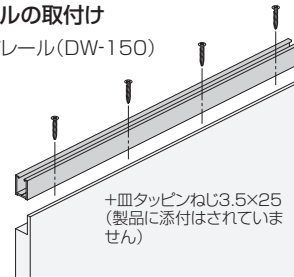


FA-100-K

2. 上部ガイドレールの取付け

- ① 戸の上部にガイドレール(DW-150)を取付けます。

DW-150



+皿タッピンねじ3.5×25
(製品に添付はされていません)

5. エンドブレーキ作動板の取付け

① エンドブレーキ作動板の仮固定

※六角レンチ(対辺4)が必要です。

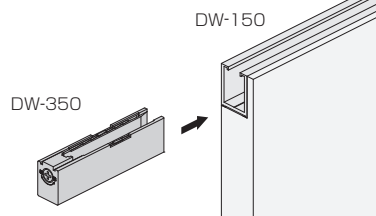
- 戸の上部に取付けたガイドレールにエンドブレーキを挿入します。
- 下記に示す方法で、戸を吊込み、上部調整ガイド(DW-250)が当たる位置で⑥仮固定ねじ(六角穴付き止めねじM8×10とがり先)で仮固定します。

② エンドブレーキ作動板の完全固定

- ⑥完全固定ねじ(+ドリルねじ4×19)で完全固定します。

※完全固定ねじを回すとき、ドライバーが天井面に当たってしまう場合は、いったん戸を外してください。

- ⑥完全固定ねじ(+ドリルねじ4×19)
- ⑥仮固定ねじ(六角穴付き止めねじM8×10とがり先)



DW-150

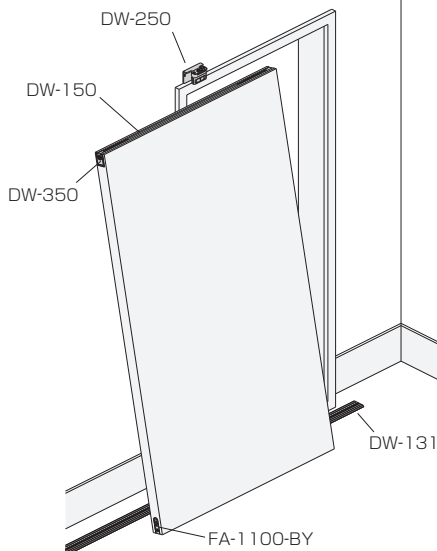
DW-350

ご注意

エンドブレーキ作動板の完全固定は戸の吊込み後に行います。

■戸の吊込み

- ① 戸を下から差込むようにして上部調整ガイド(DW-250)に上部ガイドレール(DW-150)を嵌合させ、下部レールに下部調整戸車(FA-1100-BY)を落とし込みます。



DW-250

DW-150

DW-350

DW-131

FA-1100-BY

■戸の位置調整

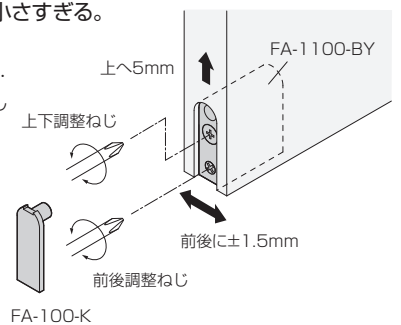
- ▶ 戸が上がりすぎている、または、下がりすぎている。
- ▶ 戸と枠との間隔が大きすぎる、または、小さすぎる。
- ▶ 戸が左右、または、前後に傾いている。

このような場合、下部調整戸車(FA-1100-BY)・上部調整ガイド(DW-250)で戸の位置を調整してください。

下部調整戸車(FA-1100-BY)の調整(上下・前後)

※ドライバーが必要です。

- 調整は戸を吊込んだ状態でできます。
- キャップがついている場合は、外し、それぞれの調整ねじを右あるいは左に、所定の位置まで回してください。
- 調整が終わったら最後にキャップをはめてください。



上へ5mm

上下調整ねじ

前後調整ねじ

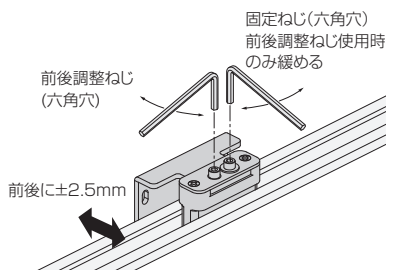
前後に±1.5mm

FA-100-K

上部調整ガイド(DW-250)の調整(前後)

※六角レンチ(対辺4)が必要です。

- 調整は戸を吊込んだ状態でできます。
- 固定ねじを緩めてから前後調整ねじを右あるいは左に、所定の位置まで回してください。調整後、固定ねじをしっかりと締めて固定してください。



前後調整ねじ(六角穴)

前後に±2.5mm

固定ねじ(六角穴)
前後調整ねじ使用時のみ緩める

■下部ストッパー(DW-340)の取付け

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

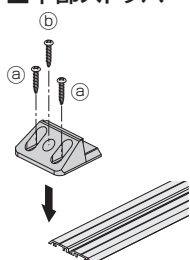
⑬

⑭

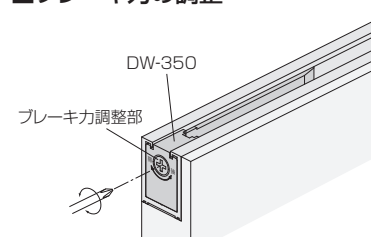
⑮

⑯

- ① 戸を閉じさせた状態で戸先側に長穴②で仮固定します。
- ② ストッパーの位置が決まったら丸穴③で本固定します。
- ③ 同様に戸を開きさせた状態で、戸尻側にも取付けてください。



■ブレーキ力の調整



DW-350

ブレーキ力調整部

ブレーキが効き過ぎている、ゆる過ぎる場合

▶▶ ブレーキ力調整をしてください

- エンドブレーキ作動板のブレーキ力調整部を回すと、ブレーキ力の調整ができます。